
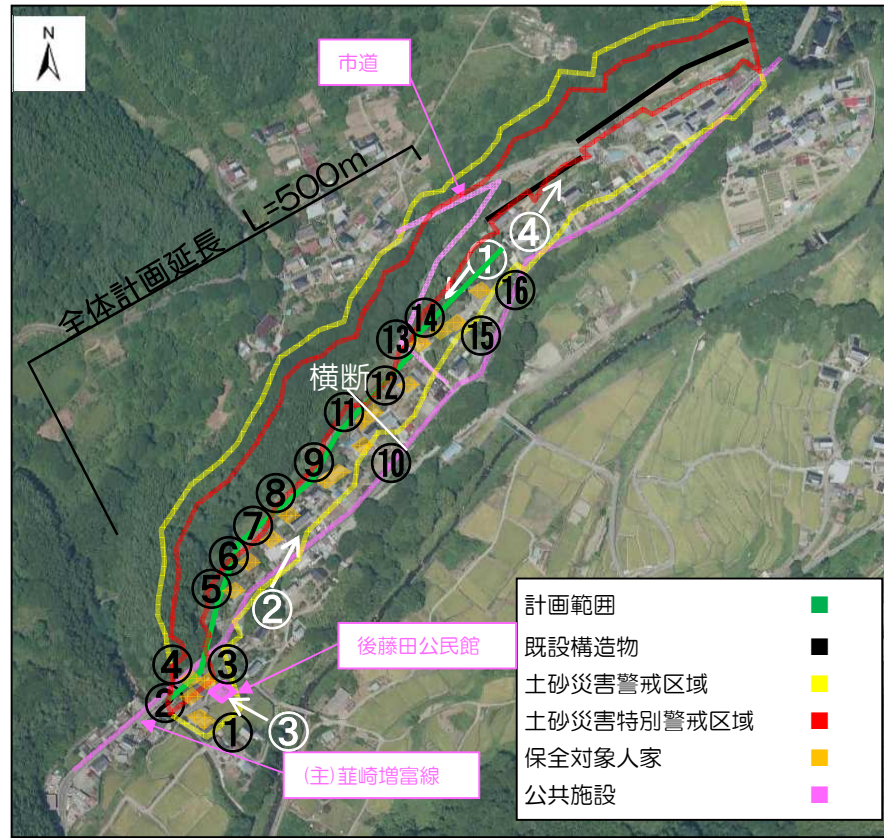


1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業【急傾斜地崩壊対策事業（国補）】	事業箇所	北杜市須玉町江草	地区名	上八巻・馬場-1（カミヤマキ・ババノイチ）	事業主体	山梨県																																				
(1) 事業の概要 ①課題・背景 上八巻・馬場-1地区は、山梨北西部の北杜市に位置する急傾斜地であり、平成19年5月17日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は、平均斜面高32m、平均勾配35度の急傾斜地で、保全対象には、人家16戸、公民館、市道があり、当該斜面が崩壊した場合、人命に影響ある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。 ②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全対象：人家16戸、公民館、市道（江草）24号線、25号線 L=200m ・重要公共施設の有無：無 合計16戸>5戸以上※ ※評価基準値 □副次目標 ー □副次効果 ー				(3) 事業の妥当性評価				妥当 妥当でない																																			
				③公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。 ④事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。 ⑤経済妥当性				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>500 百万円</td> <td>工期</td> <td>R2~R11</td> <td>基準年</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>422 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">721 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>422 百万円</td> <td>直接被害軽減効果</td> <td colspan="2">462 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">188 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害</td> <td colspan="2">71 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">1.7</td> </tr> </table> 費用便益比（B/C）は1.0を超えており、経済効率性は確保されている		総事業費	500 百万円	工期	R2~R11	基準年	R1	経済効率性	費用	422 百万円	便益	721 百万円		建設費	422 百万円	直接被害軽減効果	462 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	188 百万円				人身被害	71 百万円				その他※	百万円		B/C	
総事業費	500 百万円	工期	R2~R11	基準年	R1																																						
経済効率性	費用	422 百万円	便益	721 百万円																																							
	建設費	422 百万円	直接被害軽減効果	462 百万円																																							
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	188 百万円																																							
			人身被害	71 百万円																																							
			その他※	百万円																																							
B/C			1.7																																								
(2) 整備内容 ①整備内容 重力式擁壁工 L=500m ②着手年度 令和2年度 ③完成見込年度 令和11年度 ④総事業費 約500百万円（国費:237.5百万円(4.75/10)、県費:237.5百万円(4.75/10)、市：25百万円(0.5/10)） ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和2年度 地形測量、地質調査、詳細設計 30 百万円 令和3年度 用地測量、用地取得・補償 40 百万円 令和4年度 重力式擁壁工 70 百万円 令和5年度 重力式擁壁工 60 百万円 令和6年度 重力式擁壁工 60 百万円 令和7年度 重力式擁壁工 60 百万円 令和8年度以降 重力式擁壁工 180 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 既整備内容：重力式擁壁工L=340m 整備期間：平成9年度～平成12年度 事業費：206百万円				⑥事業実施・規模の妥当性 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。 ⑦整備手法の有効性 地形、地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。 ⑧環境負荷等への配慮 環境負荷の少ない工法を採用する。 ⑨事業計画の熟度 地元要望に基づいており、市から受益者負担金の同意は得られている。				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;">○</td> <td style="width:50%; text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;">○</td> <td style="width:50%; text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;">○</td> <td style="width:50%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>		○	○	○	○	○	○																												
				○	○																																						
○	○																																										
○	○																																										
				総合評価																																							
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;">[貢献度ランク：b]</td> </tr> </table>				[貢献度ランク：b]																																			
[貢献度ランク：b]																																											
				(4) 事業位置図等 																																							

2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】

